

生活デザイン科の 授業・行事あれこれ

トピックス

令和5年度 NO.8

R5.9.14

江別高校生活デザイン科

全道家庭部会意見・体験発表大会 開催

9月4日(月)、本校にて第11回北海道高等学校長協会家庭部会意見・体験発表大会が行われました。昨年度は一部オンラインでの参加もありましたが、今年度は4年ぶりに参加者全員が対面での開催となりました。意見・体験発表大会は、家庭科の学びを通じた自己の成長を発表する場です。今年度は置戸・剣淵・名寄など全道から9名の応募があり、石狩翔陽高校の生徒さんが最優秀賞となりました。

本校からは2年G組辻 夏望さんが「将来への前進」という発表題で参加しました。自分の将来の夢に近づくために本校に入学し、生活デザイン科での学びがその夢に繋がっていることを実感し、今後も前向きに頑張っていこうという内容でした。残念ながら受賞は逃しましたが、本校の代表として堂々と発表していました。また、当日は1・2年生の家庭クラブ役員が運営にあたり、大会や参加者交流会をスムーズに進行し、生活デザイン科1年生が会場にて発表を視聴しました。1年生にとっても、夢に向かって努力している他校の生徒の発表を実際に聞くことができ、貴重な機会となりました。



大会運営にあたる家庭クラブ役員



参加者交流会の様子

意見・体験発表大会に参加して

2年G組 夏望

今回の発表は非常に今後の為になる、意味のある経験でした。人前で発表することがとても苦手の私にとって、最初はあまり気乗りするものではありませんでしたが、日々練習を重ねるうちに自信がつき、本番はそこまで緊張することなく発表することができました。

他の発表者の方々也非常に興味深い話が多く、どれもこれからの学校生活において大切にしていきたいと思えるような前向きな内容ばかりでした。色々な人の将来の話聞いて、私も、より真剣に物事に取り組んで行こうと強く思いました。

<視聴した1年生の感想>

- みんな夢を話すだけでなく、夢を叶えて何をしたいのか、夢の先に明確な目標があって本当に素敵だった。だからこそ自分の夢に誇りをもっているのだろうし、今自分でやるべきことを見つけられるのかと思った。
- 9人の方々が発表した内容は、一人ずつ夢があり目指す場所があり、目標をもって生活しているのはすごいと感じました。今できることを精一杯にがんばろうと思いました。
- 発表では自分の目標となる経験を学校生活でしていることが多いイメージだったが、自分の学校生活では、目の前の目標を決めてなんとなく過ごしていることが多い気がする。自分のこうなりたいという目標をふだんから見つけれられるようにしたい。